

# 湧水



町消防操法大会 (H18.6.25 防災センター)

第6号

題字は吉松中学校2年生  
轟木 里香さん

平成18年6月定例会				
<p>藤JVC 吉松中ソフトテニス部 全国大会出場!</p>	<p>水害のない 安心して住めるまちへ...</p>	<p>7人 町政を問う 一般質問</p>	<p>県北豪雨災害</p>	<p>一般会計補正予算 4,847万円を可決</p>
16P	15P	8P	6P	2P

# 平成18年 第2回定例会

平成18年第2回定例会は、6月20日開会、29日までの10日間の会期で開かれました。

今定例会では、平成18年度一般会計補正予算及び2特別会計補正予算のほか、財産の無償貸付・譲渡等3件、工事請負契約の締結1件をそれぞれ可決し、陳情書4件を採択しました。

# 4,847万円可決



有機生産組合の組織の確立と、農家の所得向上と今後農業振興におけるモデル的組織として育成していくため、有機農業の認証経費に対する補助金です。

**竹中池湧水生産組合育成補助金80万円**

**より育てやすい環境に  
1,035万円**

4月1日法改正により児童手当が小学校3年生から6年生まで引き上げられました。これまでの対象者は2,721人でしたが、改正により740人増えて3,461人となっています。



## 吉松中アスベスト除去 2,050万円

管理棟の1階の天井部分と2階の一部、計401.15㎡の石綿を除去します。

工事は夏休み期間中に実施予定で、アスベストが外部に飛散しないように完全に養生をして、飛散状況を測定しながら作業が進められます。



天井に吹付けされたアスベスト

## 議場傍聴席改修工事100万円



傍聴席が高く見えにくい現在の議場

議場内傍聴席の可視拡大のための工事費です。傍聴席前方の落下防止壁を現行の木製から、アクリル板に変更することにより、これまで死角となっていた部分が解消されます。

# 補正予算

## 全国大会で活躍を！99万8千円



轟ジュニアバレーボールクラブ及び吉松中ソフトテニス部が、8月に行われる全国大会に出場するため、旅費等に充てられる補助金です。キバレ湧水の子どもたち！



## 名水丸池感謝の夕べ事業 210万円

財団法人地域活性化センターの合併市町村資源活用事業補助金の採択を受けたことによる補助金です。



# 予 算

# こんなことが

# 決

# まりました

議 案		提 案 理 由 等	結 果
第94号	一般会計補正予算 「第1号」	4,782万6千円増額 → 77億2,486万8千円 【主な内訳】 P2～P3のとおり	原案可決
第95号	介護保険事業特別 会計補正予算 「第2号」	11億1,425万2千円（予算総額の変動なし） 【主な内訳】 ・地域包括支援センターへの出向職員3人の確定による負担金の調整	原案可決
第96号	水道事業特別会計 補正予算 「第1号」	482万3千円増額 → 2億1,369万1千円 【主な内訳】収益的支出 ・人事異動に伴う人件費の変更	原案可決
第98号	一般会計補正予算 「第2号」	64万6千円増額 → 77億2,551万4千円 【主な内訳】 ・青少年大会出場費補助金（轟JVCの補助金）	原案可決

## その他の議案

議 案		提 案 理 由 等	結 果
第91号	財産の無償譲渡	<ul style="list-style-type: none"> <li>所在地 川西2663番地36</li> <li>無償譲渡 共同作業所1棟 44.32㎡</li> <li>無償貸付 宅地 157.04㎡</li> </ul>	可決
第92号	財産の無償貸付	<ul style="list-style-type: none"> <li>譲渡及び貸付の相手方 川西2661番地3 西永山地区共同利用組合 代表 佐藤 新吉</li> </ul> 	可決
第93号	財産の無償貸付	<ul style="list-style-type: none"> <li>所在地 川添2425番地23</li> <li>地 目 原野 10.1ha</li> <li>貸付の相手方 川添1226番地 川添牧野組合 組合長 桑原 佐年</li> </ul> 	可決
第97号	工事請負契約の締結	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約の目的 平成18年度湧水町立 学校給食共同調理場 新築工事</li> <li>契約の方法 指名競争入札</li> <li>契約金額 257,250,000円</li> <li>契約の相手方 鹿児島市錦江町9番25号 中央建設株式会社 代表取締役 梅井銀次郎</li> </ul>  <p>完成予想図</p>	可決

# 陳 情

陳 情		陳 情 内 容 等	結 果
第4号	町道船渡蔵元線改良に関する陳情書  (提出者) 湧水町北方147 上郡自治会長 南蘭賢二	本道路は幅員が狭く離合の際は危険でありまた、路面も荒廃し、子ども・高齢者の利便性が悪く、救急・防災態勢の向上から改良をお願いする。  安心安全な道路へ(北方地区)	
第5号	J R九州に係る支援策等に関する意見書の提出を求める陳情書  (提出者) 川西1052-1 浜田芳範	 閑散とした栗野駅  J R労組は地域交通の維持を基本理念として運動を展開していくため、地域交通の問題点・課題の相互理解が欠かせないと考えている。意見書提出のご配慮をお願いする。	
第6号	元高千穂電機工場に通ずる私道を買収し町道化を願う陳情書  (提出者) 般若寺62番地3 般若寺地区公民館長 山崎修外2名	私道の周辺は住宅用地として最適であり、地域の活性化が期待でき、町道の日枝神社～般若寺温泉間は狭く危険であり安全・防災面からも新道の方が良い。  旧高千穂電機工場の私道(般若寺地区)	
第7号	次期定数改善計画の策定と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の採択を求める陳情  (陳情者) 湧水町川西1533-2 平谷和文	  教育の重要性、さまざまな課題を踏まえた教育論より、財政の緊縮が優先し、教育水準の低下が危惧される。義務教育費国庫負担制度の堅持を求める。	
第8号	幸田住宅早期建設を求める陳情書  (陳情者) 幸田1332番地 幸田校区活性化会議会長 西迫義春	幸田地区の活性化のため、Uターン者家族・孫戻り運動を展開しているが、希望者はあるものの、受け皿の住宅が不足している。取得してある町有地に町営住宅の早期建設をお願いする。 	

## 意見書を提出しました

発 議	提 出 理 由 等	提出先
第2号	J R九州に係る支援策等に関する意見書  J R九州は、営業開始当初から赤字経営が見込まれ、経営安定基金の運用益と税の低金利のため運用益は益々減少し、より効果的支援策がないと赤字路線の廃止及び運賃改定により地域住民に犠牲を強いることは必至である。	内閣総理大臣 小泉純一郎氏 ほか3大臣
第3号	次期定数改善計画の策定と義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書  教職員の給与に充当されている義務教育費国庫負担制度の見直しは、教育水準の低下が危惧される。児童生徒の実態に応じ、きめ細やかな対応を行うため制度の堅持が不可欠である。	内閣総理大臣 小泉純一郎氏 ほか3大臣 及び 衆参両議院議長

復旧に係る経費

3億7800万円

害

招集 (平成18年8月7日)



宅地に流れ込んだ土砂



宅地の裏山が崩壊

# ● 早期復興を促進

## 分担金徴収条例を改正

災害を受けた宅地等の復旧事業を行う場合の  
土砂除去等の経費を支給する。

- 事業費の限度額50万円
- 受益者負担は事業費の10%

# 県北豪雨災

## 迅速な対応のため臨時会



木原展望台より見た吉松地区の災害状況

# を問う

6月20日及び21日の2日間、議員7名が16項目について質問しました。

この内容は1議員に対し2時間以内で質問・答弁されたものを質問者が自ら要約したものです。

## 有料広告での自主財源向上策



池上 滝一 議員

### 広報編集委員会で全国の導入例に習い掲載の検討をします

米満 町長

**池上** 財政状況の厳しい中、全国的に広報誌やホームページ、封筒などに企業広告を募集し

少しでも自主財源を確保しようとする動きが活発化しているが、本町の取り組み状況について伺う。

**町長** 4月から広報編集委員会が検討を始めており、その報告を受け慎重に進めていきます。また、本町の情報を発信しているホームページにも日に二百件以上のアクセスがありますので、この媒体にも企業広告ができませんか検討しています。

### 大口市外四町消防組合への職員派遣

**池上** 過去に本町議会や消防組合議会において、職員定数に満たない組合組織の人員環境が招く様々な弊害が指摘されており。また、こ

れからの高齢化社会を考慮しても、本町職員の出向案で改善ができるか考えるが。



**町長** 財政的な問題もあり、現在定数から十七名不足の状態に対応しているようです。業務については各署、分遣所が連携し、今のところ住民への迷惑はないとのことですが、これまで大口市より職員が出向し一般事務を行っていた経緯もありますので、定数人員の確保については今後、協議検討する必要があるかと思えます。

### 児童生徒の

### 金銭教育

**池上** 健やかな成長を阻害する要因が多い現在、特にその中でも将来の方向性を大きく左右すると想定される金銭教育は重要であると思うが。

**教育長** 学校における金銭教育は、健全な消費者としての能力や態度を育成し、物や資源を大切にす環境教育とボランティアなどを関連付け、総合的に推進していくことが重要であると考え、今後各各学校への指導を一層充実させます。





ここが  
聞きたい!

議員7名が

# 町政



## 堤防への車両の進入防止 及び舗装化

川田 耕哉 議員

## 河川事務所に要望する

米満 町長



川内川堤防

**川田** 川内川の堤防は、安心・安全な通学路、生活路等として多くの人が利用している。吉松橋から柿木橋の左岸堤防は車両が通行し、危険であり、車両進入防止柵の設置について伺う。

**町長** 侵入防止柵の設置は可能であり、河川事務所と協議する。

**川田** 高齢者・電動カー利用者等にやさしい道路として簡易舗装化を伺う。

**町長** より安全で優しい通路として舗装化は必要であり、河川事務所に強く要望していく。

### 奨励スポーツ

**川田** 活性化及び青少年健全育成の観点からバトミントンを町の奨励スポーツとして提案する。バトミントンは競技人口が少なく、直ぐに各種大会で活躍でき、青少年の将来に明るい展望が開ける可能性があり、コミニケーションづくりの場ができ、青少年の健全育成に寄与でき、大会等により交流人口が増え、活性化が期待できる。提案についての町長・教育長の考えを伺う。

**町長** 高齢者の社会参加促進、青少年の健全育成等多面的に検討する必要がある、関係機関と連携しスポーツ振興に努める。

### 農産物のブランド

**川田** 「町おこし」の一環として農畜産物の加工品以外のブランド創出の取組みを町長に伺う。

**町長** 棚田米、有機米・甘藷の他、新たに十七年度から進出企業とタイアップした黒胡麻、十八年度から京芋の推進を図っており、今後地域・関係者と一体となり、協議・検討を重ね、ブランド化に努めていく。



たらの芽

個人情報完納の壁である。その対応は



福島 勝男 議員

きめ細かい徴収に努めます

米満 町長

**湧水町納税報奨規程**

(納税報奨金の金額)

第4条 報奨金は、12月25日までの納入成績に基づき、次により算出した金額とする。

(1) 納税組合等に対する報奨金

ア 均等割	1 納税組合	2,000円
イ 戸数割	1 戸	150円
ウ 税額割	納税額の1000分の15以内 (ただし、最高限度額100,000円)	
納税率	100%	納税額の1000分の15
納税率	95%~99.9%	納税額の1000分の8
納税率	90%~94.9%	納税額の1000分の6
納税率	90%未満	支給なし

**福島** 我が町のほとんどの自治会が納税組合を組織し、徴収に協力しており、見返りの納税報償金を自治会の貴重な財源としてきたが、近年、個人情報保護の観点から、未納者の特定ができず、100%割れして、納税報償金が半減し、自治会運営に支障をきたす事態が多発している。行政が徴収に努力するのは当然の事であるが、納税組合の100%割れ

を防止するうえからも、唯一情報を把握している行政が対策を講じるべきと考えるが、その対応を伺う。

**町長** 納税組合の存在と、納税報償金の制度については、個人情報保護の観点から、好ましい事とは言えませんが、地域の実情を踏まえ、自治会の育成支援のためにも何らかの形で続けて参ります。徴収については、未納者情報を唯一知り得る行政で、きめの細かい徴収をするよう担当課に指示いたします。

道路法面の雑草対策

**福島** 国道・県道・町道それぞれ道路法面や路肩に雑草が繁茂し、交通安全、沿道修景、耕地等に支障が生じている。今までも町道等においては、自治会における美化活動や耕地の自主保全など協力してきているが、高齢化に伴い、自主管理が厳しくなっている状況や、個人で自主管理するにはあまりにも広大すぎる法面の存在がある。特に、県道木場吉松えびの線の北方、永山間、県道川西菱刈線の未改良区間

においては、交通安全確保のためにも対応を急ぐべきと思うが、町長の見解を伺う。

**町長** 県道については、改良促進を含めて土木事務所とその対応を詰めて参ります。高齢化により自主管理困難な箇所等については、調整検討し、土木事務所ともに対応に努力いたします。なお、自治会等における活動については、従来どおりご協力をお願いいたします。



作業班の下払作業



## 栗野庁舎で起きた不祥事の経過報告を

山口 忠人 議員

## 検察庁による罰金刑が課され全て終了

米満 町長



栗野庁舎

**山口** 4月には司法の判決も完了した、その後5月に臨時議会が開催されたが議会には報告がなされていない。また、住民に対しての説明責任の必要性は考えないか。

**町長** 司法関係の事は管轄外であるので、控えます。

**山口** 司法の判決が出ていない

い、昨年11月の臨時議会に、指揮管理のあり方を反省し町長の給料10%減の議案を提出されたが否決された。そして4月の時点で賞罰委員会、並びに検察庁の判断も下された。今回の不祥事については全てが終了したと受け取っていいのか。

**町長** 昨年の臨時議会で否決されました。一事不再議と言うものがある、議会の意向は決まったものと考え、再度提出する考えは無い。

### 我が町の情報化について

**山口** 情報化の流れのなか、合併を機会に庁舎内、庁舎間及び出先機関をほぼ全域接続し、さらに、職員一人1台のパソコンを完備させ、情報化システムの構築完了となったが、スムーズに活用されているか。

**町長** 万全とは言えない。今後時代に即応した住民サービスのさらなる向上を図りたい。



活用したい、本町のホームページ

**山口** 湧水町のホームページについて、イベントや自然環境の紹介、又、議会や情報公開等を活発に行うには、容量が不足していると思うが。

**町長** 庁舎内で「ホームページ運営委員会」を設置し充分な活用に向け更に取り組みます。容量不足については満たすだけの確保をします。

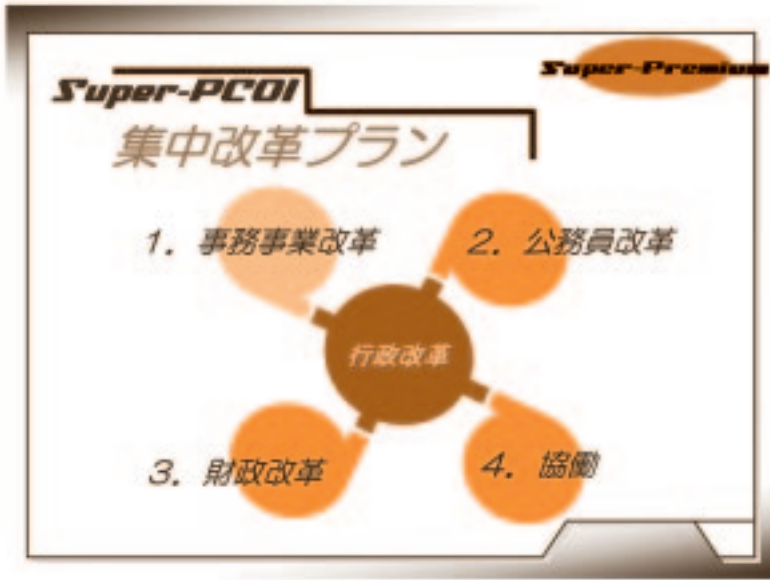
# 究極の行革S-PCOI



## 住民のご理解が行革成功の鍵

議員 文夫 議員

米満 町長



**議員** 行政サービスの見直しとは何か伺う。

**議員** 適正な職員定数について伺う。

**町長** 行政と住民の「協働」が益々必要になります。住民の方々のご理解が、行革成功の鍵になると思っています。

**町長** 財政面を考えると、住民100人に1人位になるが、分権で事務量が增大することも配慮しなければなりません。

**議員** 組織の見直しとは、グループ制のことか伺う。

**議員** 「行革コンペ」で、将来人口3万人の善通寺市は、市が100%出資の人材派遣会社を作り、S-PCOI（スーパー・プレミアム・シティ・オフィス・イニシアティブ）計画で、職員数究極目標170人プランを作った。島の人口2,500人の海士町は、職員の給与カットや地場産品の開発に取り組み、若い世代を中心に人口が増加に転じ、赤ちゃんも5割増えた。町長の感想を伺う。

**議員** 国は、地方に対してこれまでの行革の大胆な見直しを迫っております。対応策を伺う。

**町長** 課を超えてチームでの取組みも必要です。現在、阿波井堰水害対策をチームで行っています。

**町長** 三位一体改革になつていないため、大変厳しい財政運営を強いられています。新行革大綱もできましたので、行政サービスの見直し、組織・機構の見直し、定数管理・給与の適正化、意識改革等、住民の声を反映した行政の推進をより一層図ってまいります。

**議員** 投資的事業の重点化で合併まちづくり計画の見直しが必要になるのではないかと伺う。

**町長** 国の諸条件が変わつて、大幅な見直しを迫られています。（中略）

**町長** 考え方は良いと思えます。町の形態・状況に即した可能性を考えて取組んでまいります。（後略）



## 団塊世代の定住促進対策について

西牟田 徹也 議員

町づくりの基本方針として住み続けたい生活環境づくり、宅地の整備を推進していきたい

米満 町長

**西牟田** 移住促進対策として相談窓口を設けて積極的に誘致する考えはないか伺う。

**町長** 定年後の移住に関しては宅地分譲を中心に相談窓口を設けて積極的に誘致活動を行っている。

**西牟田**

本町の各地区における空き家等や遊休農地を行政が借り上げて定住対策として本格的に取り組み考えはないか伺いたい。

**町長**

有効な方法であると思いますが、農地法や不動産法の問題等を精査し、検討する必要があります。

### 少子化対策について

**西牟田** 我が町が、人が潤う対策として、今後、どのように取り組まれる考えか伺いたい。

**町長** 子育て支援対策として保育関係の減免措置等を検討する必要があります。



**西牟田** 結婚予定者や子育て家庭に一戸建住宅を建設し優先的に配慮して20年を目処に定住者に無償譲渡する考えはないか伺いたい。

**町長** 若年者の定住化対策として、新設の計画もありますが、公営住宅ストック総合改善事業の中で検討していきたい。

### 環境整備について

**西牟田** 本町の全地域における携帯電話の圏外不通話の解消策は、どのように取り組む考えか伺いたい。

**町長** 今や携帯電話は緊急連絡等必要不可欠なものであります。解消策として各通信会社へアンテナ設置を依頼しておりますが、今後も引き続き要望していきたい。



今や必需品の携帯電話

# 吉松生活改善センターの運営について



綾織 まち子 議員

将来は指定管理者制度を導入しての運営としたい

米満 町長



吉松生活改善センター

**綾織**

現在、管理人として雇用されており、来年度より管理人を置かないという事で、改善センターを利用されている

住民の方に説明されていますが、今後はどのような運営をなされるのかわう。

**町長**

吉松生活改善センターは農村婦人の自主的活動を促し、地域の連帯意識を高め、生活改善及び健康増進を助長し、地域社会における役割並びに資質の向上を図ることを目的に設置されたものであります。現在は週4日を管理人対応とし、残り1日は職員等機械操作のできる者で対応し、利用できる体制をとっています。

**綾織**

職員の対応でと言われますが、職員

の機械等の使用に対する経験はどの程度あるのですか。

**町長**

職員は一時的な対応で考えており、将来は指定管理者制度を導入しての運営としたい。

**綾織**

指定管理者制度での運営となった場合、収入としては少なく光熱費等維持管理費を払えるような状態ではなく町民の使用料だけでの運営は困難で、より安心・安全な運営ができるよう



加工室の様子

**町長**

運営面は個人ですが、町が建てた施設でもあり、高齢者や年に1〜2回程度の利用のため現状を十分把握しながら、維持管理体制に取り組んで参ります。また、事故等が発生しないよう指導します。

助成して欲しい。

# 水害のない安心して住めるまちへ…

## 湧水町議会 水害対策調査特別委員会活動報告

委員長 篠原 三千人

町では、「災害に強いまちづくり検討書」として阿波井堰を含めた川内川の抜本的な改修計画案を作成。4月5日に国土交通省川内川工事事務所に改修計画案の説明を実施しています。その内容とは。

### 町としては

- ・阿波井堰上下流の狭窄部開削を最終目標に、町独自の改修計画案を作成し、国土交通省へ提案を行っていく。
- ・河川拡幅が比較的容易な下川添流域の拡幅案を地権者に示し、賛同と協力も得た。

### 水害対策調査

### 特別委員会としては

- ・町独自の改修計画案の内容確認と、公民館長や床上浸水被害者を中心とした住民・議会・行政三者が一体となり、地元選出国會議員の協力を得ながら、国や県へ引き続き改善要求を行っていく。

問題となっている阿波井堰狭窄部



## 災害に強いまちづくり検討書

平成18年6月26日  
出席者

【特別委員会】全議員（議長除く）  
〔行 政〕米満町長、  
久留須助役、藤川建設課長、  
ほか2名

### 町の説明

阿波井堰上下流の狭窄部開削を最終目標としているが、開削工事予算、阿波井堰開削後の下流域の流下能力、チツソ発電所の国土交通省との水利権契約等が弊害となっている。

新たな被害や従前からの浸水被害拡大の抜本的対策を求めながら、吉松地域の流量拡大の対策を図っていく。

吉松地域の流量拡大を下川添地区周辺流域まで引張り、河川水位の低下を図り、内水の廃水処理に結び付け、床上浸水や道路冠水の被害軽減を図る。

下川添地区周辺流域（川添狭窄部）の拡幅は、吉松地域中心の河川幅160m程度とし、阿波流域の河川高低差を利用し、流量拡大に結び付ける。

阿波井堰開削後、流量拡大により栗野地域に被害が及ぶことも考えられることから、緩和調整する堰を北方地区発電所付近の川幅の広がった辺りに構築する。

改修計画案に係る上下流の支川、内水及び本線の寄り洲除去や、栗野地域の補強箇所等についても関連対策を図る。

浸水被害住民の実情を大事にしながら、共通対策の理解や協力を深め、一体的参画を図っていく。



# 全国大会で活躍を！



## 轟 J V C (ジュニアバレーボールクラブ)

轟 J V C (ジュニアバレーボールクラブ) は、始良地区予選を勝ち抜き、6月24日～25日に霧島市横川総合体育館、国分総合体育館で行われた「サントリーカップ第26回全日本バレーボール小学生大会鹿児島県大会」において、優勝の栄誉を勝ち取り、8月15日～18日まで東京都(東京体育館)で開催される全国大会に鹿児島県代表として出場します。全国大会に向け指導者の下、県の代表として決意も新たに日々練習に励んでおります。主将の鶴留はるなさんは「コートの中で笑顔が絶えないのが私たちの強みです。」と全国大会に向け意気込みを見せました。

## 文部科学大臣争奪 全日本ジュニアソフトテニス大会

この大会は、過去の実績を元に県から3校推薦される大会で、昨年の成績を元に県代表として吉松中が選ばれました。8月16日～19日の日程で行われ、8～9チームのリーグ戦の後、リーグ戦の順位ごとに決勝トーナメントを行います。



### 海藏 綾乃キャプテン

私たちに全国大会という大きなチャンスを作ってくださったのは、私たちの先輩をはじめよい環境を作ってくれた両親や地域の方々と指導して下さる先生のおかげです。」全国大会という大きな場で、自分たちが練習してきた事を発揮し、ボールにくいついていけるか挑戦したいと思います。

全国大会で、いろんなチームのいいところを学んでこれからの自分たちに活かして生きたいです。



## 編集後記

今回の県北豪雨災害により被災された方々に對し、謹んでお見舞い申し上げます。

私も広報委員は、町議会活動を分かりやすく正確に伝えるために研修会や先進地視察を行い皆様に親しまれる議会だよりを合言葉に委員が切磋琢磨し、次回発行が待ち遠しくなるような紙面作りを目指してきました。今後も確かで正しい情報の揭示に努力いたしますので、皆様から御意見等いただければ幸いです。(池上)

議会広報調査特別委員会  
委員長 宮里 廣昭  
委員 坂屋 良二  
委員 境田 公明  
委員 池上 滝一  
委員 亀澤 中  
委員 川田 耕哉